

事務事業名		森林づくり推進支援金事業		会計	一般会計	実施区分				
H28担当課等名		林務課	H28係等名	里山保全係	事業種別	政策	開始	20	終了	29
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり						
		施策	51	緑の保全と創出						
目的	対象(誰・何を)	市内の民有林			対象指標	指標名及び単位		27年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	1. 里山を整備して良好な環境整備や景観形成を図る。 2. 間伐材の利活用を進める。				森林(民有林)面積(ha)		40392		
	向上させたい上位施策の成果指標	身近な自然は守られていると感じる市民の割合 %								
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	1. 整備済面積(ha)			12.5	2.43	5	-		
	定性目標									
事業概要	<p>【長野県森林づくり県民税活用事業】 市町村支援 (森林づくり推進支援金事業) 地域固有の課題に対応した森林整備の推進や、間伐材の利用促進などを行うための市町村の取り組みに対する県の支援金。 県では、飯田市独自の取組み方法や事業内容・事業費などの申請を受け、県主催の県民会議や地域会議に於いて、承認・決定される。</p>									
27年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	<p>長野県森林づくり県民税活用事業 1 里山整備事業:集落周辺の里山を整備し居住環境の改善と、景観対策を図る。 2 緩衝帯整備事業:野生鳥獣の住処や通り道となる荒廃森林にて林床整理や不用木などを除間伐することでシカ、イノシシ、サル等の生息しにくい環境を生み出し、農林産物被害を防止すると同時に、良好な森林景観の形成を図る。 3 地元産材普及啓発事業:飯田の木を活用したテーブル・椅子を品川のブックカフェ「KAIDO」に設置。【新】 4 竹林整備支援事業:導入した破碎機の消耗品費、修繕費を10/10事業で実施し、自治会・集落等が行う竹林整備に破碎機を貸し出す。</p>				<p>1 整備面積 2 緩衝帯整備事業 3・テーブル(用途により5種類) ・椅子(スツール) 4 式</p>			<p>1 A=0.23ha 2 A=2.2ha 3 12台 6脚 4 1式</p>		
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		5,331	5,300	5,299	5,000	(県)森林づくり推進支援金(10/10以内)				
国庫支出金										
県支出金		5,330	5,295	5,295	5,000					
起債										
その他										
一般財源		1	5	4						
人件費計(千円)②		1,430		1,430						
正規職員所要時間		400		400						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		6,761	5,300	6,729	5,000					
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>野生鳥獣対策や通学路等の安全確保のため、緩衝帯整備・里山整備を実施した。目標地には含まれていないが、H27年度は、飯田の木を活用して製作したテーブル・椅子を飯田の情報発信拠点となる品川のブックカフェ「KAIDO」に設置し普及啓発を図った。</p>									
改革改善の考え方	①問題点	<p>当事業の多くを国・県補助事業対象外の森林整備に充てているが、森林所有者だけでなく多くの市民がこの県民税の効果を実感できる機会がまだ少ない</p>								
	②改革提案	<p>公共施設(公園・学校)等における木材の普及啓発や木質バイオマスの利活用などの「木を活かした力強い産業づくり」及び、NPOや地域住民との協働や森林環境教育への支援など「森林を支える豊かな地域づくり」の具体的事業の検討</p>								